

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスCOLORS			
○保護者評価実施期間	2025年12月1日 ~ 2025年12月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2025年12月10日 ~ 2025年12月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月1日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者数の増加により、少人数での丁寧な関わりに加え、小集団での活動が行えるようになっている ・サークル遊びやマット運動、ボール遊びなど身体を動かす活動を取り入れ、心身の発達をバランスよく支援している	・個々の発達段階に配慮しながら、集団活動の中で順番を待つ・ルールを守る・他児と関わる経験を意識的に取り入れています。 ・サークル遊びやマット運動を通して体幹やバランス感覚を育てるとともに、ボール遊びなどの活動を取り入れ、楽しみながら運動機能や協調性を高められるよう工夫しています。	・利用児の発達段階に応じて運動要素を取り入れた活動内容を工夫し、集中力や社会性の向上にもつなげていきます。
2	・毎日の情報共有やプログラムについてのミーティングをしている	・スタッフ全員で情報共有を行い、利用児の状況に応じて支援内容や活動を検討しています。	・テーマを設けた事例検討等を取り入れ、支援の質の向上を図っていきます。
3	・発達段階に応じた室内活動を中心に、集中力や手先の巧緻性を高める支援が充実している	・机上課題や制作活動、運筆、パズル等を取り入れ、楽しみながら取り組めるよう工夫しています。	・興味関心に合わせた活動内容を増やし、意欲的に参加できる環境づくりを行っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会や交流する機会、ペアレントトレーニングの充実	・保護者会を開催していますが、参加できない保護者の方もいらっしゃいました。（ふれあい交流会という名称で保護者同士の交流を持つ場として開催していますが、「保護者会」という名称ではないため十分に周知できていなかったのではないかと考えています。） ・利用時の様子の見学や相談会等個別に対応できる体制はありますが、実施に至っていないご家庭もあり、機会を増やしたいと考えております。	・開催日の調整や保護者の希望を聞いて多数の参加を促してまいります。今後は内容も含め、広く周知できるよう努めます。 ・個別の相談等についてもより保護者の方が依頼しやすいよう声掛けを行ってまいります。
2	・児童発達支援だけの人数では集団の活動が限られる	・児童発達支援+放課後等デイサービスを合わせて定員10名の状況のため、定員の約半数程度の利用になる状況です。	・公園の利用を継続するとともに、少し離れた場所の公園、公共施設や児童センター等を利用することで関わる人の数を増やし、社会性をより一層高めていくようにできればと考えています。
3	・実例に合わせた対応の面で不安がある（マニュアルの充実等）	・マニュアルは施設内であれば閲覧できますのでご希望がございましたらおっしゃってください。 ・開所後間もない状況で、事業所としての実績はこれから蓄積していく所です。	・ひとつひとつの事象をごこれまで通り振り返り、今後の対応に生かしてまいります。今後蓄積した経験をもとにマニュアル等をより実用性のあるものへとしていければと思います。